

5. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

① 修学支援について

- ◆ 前・後期講義開始前に各学年ごとに教務係職員並びに各学科のアドバイザー(教員)による指導を行っています。
- ◆ 両学科共にアドバイザー制を設けており、学生に対して個別の指導・助言を行うことで、よりきめ細かな対応を可能としています。また、オフィス・アワーの時間を利用し、(非常勤講師も含めた)教育相談や学習支援を行なっています。
- ◆ 人間コミュニティ学科においては、4年生大学への進学(編入学)希望が多く、進学を希望する学生には入学直後より早期の進学の為の学習支援やアドバイスをしています。
また、コースにより、就職現場に想定される実践的な助言や支援に取り組んでいます。
- ◆ 保育学科においては、就職現場で必要と予想される、より上級者向けのピアノ指導等を個別に行っています。また、4年制大学への編入希望の学生や、各地域における幼稚園やこども園、保育園等の登録試験及び公務員試験を受験する学生に対しては、その都度学習支援及び指導を行っています。
- ◆ 成績不良者、長期欠席者への支援については、担当アドバイザー、並びに、所属する学科の教員全員で対応を検討し支援しています。

② 進路選択に係る支援

◆就職・進学支援体制

本学では、就職・進学について支援するための組織として、進路対策委員会があり、総合的な対策等を協議・対応しています。学生の進路に関する相談や指導は、各学科の担当アドバイザー(教員)が行っています。事務職員の支援体制は学務課学生係及び就職支援コーディネーターを中心としています。進路については、教員と事務職員とが独立して指導するのではなく、連携を密にしながら指導を行っています。

本学は、専門性を生かした就職先が多いことも特色です。人間コミュニティ学科においては、映像・放送コースの学生はメディア関係への就職、司書コースの学生は図書館・司書関係への就職、仏教コースにおいては進学希望の学生が多く、入学当初からの指導が必要なため、入学時に進学希望の学生を調査し、学生の希望を達成できるように支援しています。

保育学科においては、幼稚園、こども園、保育園、児童養護施設への就職等、就職支援によつての成果が挙がっています。

◆就職・進学支援状況

- ・学生の進路調査を実施し、就職を希望する学生に対しては希望職種に就けるように、具体的に指導しています。進学希望の学生に対しては、進学のための学習支援やアドバイスをしています。
- ・学生が就職の為の情報を収集することが出来るように、進路相談室に学生専用のパソコンを設置し、学生に開放しています。
- ・就職支援を目的とした本学オリジナルの就職ガイドブックを作成し、全学生に配布しています。

- ・学外から講師を招いての就職ガイダンスを実施しています。
- ・外部の専門のキャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリングを定期的実施し、学生の相談に応じています。
- ・地元ハローワークからのジョブサポーターを配置し、適性検査・個別キャリア相談・面談を行っています。
- ・進路相談室に設置しているパソコンから、ハローワークの求人情報をリアルタイムで閲覧できるようにしています。

③ 心身の健康等に関する支援

◆学生の健康管理

年1回の健康診断を毎年4月に全学生を対象とし実施しています。

精密検査を要する場合には医療機関への受診を指導しています。

腹痛、発熱、感冒、生理痛等による休憩用として、保健室を設置し病気・怪我等への対応を整えています。

近隣の医療機関と契約し、実習に必要な検便の実施や、就職に必要な健康診断書の作成を依頼し、また、急病にも対応しています。

新型インフルエンザの対応や、薬物乱用防止の為の啓発活動も行なっています。

◆メンタルケアやカウンセリングの体制

学生からの悩みや相談を受け付ける学生相談室を設置しています。学生相談室は本学心理学の常勤教員研究室と併設しています。対応するカウンセラーは、臨床心理士の有資格者で、2名体制で取り組んでいます。

例年、4月のオリエンテーション時に学生相談室の業務内容の説明を行っています。

精神的悩みや相談事を持つ学生の早期発見、早期対応に努めています。学生相談室における学生の諸問題は学生相談室・学生委員会・各学科において連携し対応しています。

また、平成28年度入学生から「合理的配慮についての調査」を入学前に行い、障がいのある学生への入学後の支援を行っています。